

発表者の皆様へ

1. 発表時間について

発表時間は下記のとおりです。時間を厳守してください。

プログラム	講演・発表時間、質疑応答時間
教育セミナー	45分（詳細は事前にご案内いたします）
特別講演	60分（質疑含む）
教育セッション	詳細は事前にご案内いたします
グランドカンサード	発表時間 10分 質疑 8分
シンポジウム	詳細は事前にご案内いたします
医療スタッフセミナー	詳細は事前にご案内いたします
一般演題	発表時間 5分 質疑応答 2分

2. 座長の皆様へ

座長受付は行いません。ご担当セッションの開始予定時刻の20分前までに会場内右手前方の次座長席にご着席ください。進行は座長に一任いたしますが、時間厳守にご協力をお願いいたします。

3. 演者の皆様へ

- 筆頭演者の利益相反の開示につきましては13ページをご確認ください。
- 発表データの受付、パソコン持込の場合の出力チェック・確認は全てPC受付にて行います。必ず発表の30分前までに受付をお済ませいただきますようお願いいたします。
※基本的には先着順にて対応いたしますが、やむを得ず早い発表時間の方を優先させていただきます場合がございます。予めご了承ください。
- PC受付は以下の日時となります。
時間：2024年12月7日（土）8：30～17：20
場所：東京ビッグサイト 会議棟1F 102
- 一つ前の演者の発表が始まりましたら、会場左手前方の次演者席へご着席ください。
- 質疑応答、討論につきましては座長の指示に従ってくださいますようお願いいたします。
- 発表は、PCプレゼンテーションのみです。演台上に設置されているマウス・パッドを操作してください。
- 発表データは、PC本体または、メディアでご持参ください。Windowsのみデータ持込が可能です。
Macintoshの場合は、ご自身のPC本体を必ずご持参ください。
- 発表後、発表データは事務局で責任をもって消去いたします。

【PCをお持込みになる場合】

- A) パソコンのACアダプター、外部出力用変換ケーブルは、必ずご自身でご用意ください

い。会場でご用意する PC ケーブルコネクタの形状は、HDMI です。外部出力コネクタを必要とする場合には必ずご自身でご持参ください。

- B) スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除お願いいたします。
- C) ご自身の PC と共に、バックアップ用のデータ (USB フラッシュメモリー、CD-R) をご持参ください。
- D) スムーズな進行のために、発表者ツールのご使用はご遠慮ください。
- E) PC は、セッション終了後、会場内の PC 卓にてご返却いたします。

【メディアをお持込みになる場合】

- A) 使用可能なメディアは、USB フラッシュメモリーでのお持込みに限ります。
- B) 持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ (完成版) のみ入れてください。
またデータのファイル名は、演題番号 (半角) に続けて演者の氏名 (漢字) をつけて保存してください。
例：OS-1-01-01 東京太郎
- C) 事務局で用意する PC は、OS：Windows
アプリケーションソフト：Microsoft PowerPoint 2010/2013/2019 です。
- D) 動画データをご使用の場合は、Windows (OS) および Windows Media Player11 の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをご用意ください。
(動画ファイルは MP4 又は WMV 形式を推奨いたします。)
必ず作成に使用された PC 以外の PC での動作確認をお願いいたします。バックアップとして PC 本体のお持込みを推奨いたします。
- E) 使用フォントは文字化け、レイアウトのくずれを防ぐため Windows 標準搭載のものをご使用ください。
日本語推奨フォントの場合：MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝など
英語推奨フォントの場合：Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、
Times New Roman
- F) 会場プロジェクターは 16：9 になります。
- G) メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、セキュリティーソフトを最新バージョンにアップデートし、最新のウイルス定義とセキュリティアップデートを実行した状態でメディアのチェックを行ってください。
- H) コピーミスを防ぐため、データコピー作成後、他のパソコンによる動作確認をお願いいたします。
- I) メディアは受付後にご返却いたしますが、念のため、発表時にご持参ください。

【筆頭演者の利益相反の開示について】

筆頭演者自身の過去1年間における、発表内容に関連する企業や営利を目的とする団体に関わる利益相反（Conflict of Interest：COI）の有無を発表時に必ず開示してください（共同演者のものは開示不要）。

発表時のスライドに記載が必要となります。利益相反【なし】の場合も必ず【なし】として記載してください。

利益相反の指針および発表時の開示形式は、日本乳癌学会ホームページをご参照ください。

https://www.jbcs.gr.jp/modules/about/index.php?content_id=14

開示用 FORMAT


3ページ: 開示用 FORMAT		
 The Japanese Breast Cancer Society <small>since 1992</small>		
筆頭演者の利益相反状態の開示		
	該当の状況	企業名等
(1) 役員・顧問職	あり ・ なし	
(2) 株	あり ・ なし	
(3) 特許使用料	あり ・ なし	
(4) 講演料など	あり ・ なし	
(5) 原稿料など	あり ・ なし	
(6) 研究費	あり ・ なし	
(7) 寄附金	あり ・ なし	
(8) 訴訟等の顧問料など	あり ・ なし	
(9) 研究員の受け入れ	あり ・ なし	
(10) 寄付講座	あり ・ なし 職名： (専任・兼任)	寄付講座名：
(11) その他報酬	あり ・ なし	

1項目でも該当する場合

4ページ: 例題(1項目でも該当する場合)		
 The Japanese Breast Cancer Society <small>since 1992</small>		
筆頭演者の利益相反状態の開示		
	該当の状況	企業名等
(1) 役員・顧問職	あり	Xベンチャー企業
(2) 株	あり	A製薬、Yベンチャー企業
(3) 特許使用料	なし	
(4) 講演料など	あり	A製薬、B医療機器メーカー
(5) 原稿料など	あり	C製薬
(6) 研究費	あり	D製薬、E医療機器メーカー
(7) 寄附金	なし	
(8) 訴訟等の顧問料など	あり	Xベンチャー企業
(9) 研究員の受け入れ	あり	D製薬、G企業
(10) 寄付講座	あり 職名：講師 (専任)	H製薬〇〇講座
(11) その他報酬	あり	I化粧品会社、J生命保険会社、K出版社

口演の場合 →

すべての項目に該当なしの場合

4ページ: 例題(すべての項目に該当なしの場合)		
 The Japanese Breast Cancer Society <small>since 1992</small>		
筆頭演者の利益相反状態の開示		
すべての項目に該当なし		